



## ベア1万2,000円、定昇6,000円獲得！ JS労と共に労連運動をつくるぞ！ 新たな仲間を迎え、第37回定期中央委員会開催

JR東海労は2月11日、大阪市で第37回定期中央委員会を開催しました。

開会に先立ち、セントラルメンテナンス株式会社（CMC）より、JR東海労に加入した若い仲間を披露し、全体で万歳三唱を行いました。

淵上委員長は、挨拶で「臨時大会で今委員会とJR東海労連結成大会を関西の地で開催を要望する発言があり、この場で開催することを決めた。春の闘いを全組合員が一丸となって闘おう」と訴えました。

来賓として、JR総連より山口委員長、山田総務・共済・国際部長、伊藤広報部長、JS労柳楽委員長が出席しました。山口委員長は「2024 JR総連春闘で統一要求・統一闘争で全国の仲間と共に闘う」と挨拶しました。柳楽委員長は「結成以降、3つの柱で闘いを進めてきた。JR東海労連運動を共につくっていく」と挨拶しました。

質疑では、JS労の仲間と共に労連運動を展開していく決意を中心に、職場からの闘いの報告の発言がありました。

本橋書記長は、総括答弁で「会社から新たに提案された人事・賃金制度は、社員間の競争を激化させるもの。若い組合員の利益を守るために闘おう」と訴えました。

最後に、淵上委員長の団結ガンバローで委員会は成功裡に終了しました。

